

報 告 書

(委 員 会 名) 文教厚生常任委員会
(視 察 日) 令和 6 年 1 1 月 1 2 日 (火)
(視察先都市名) 静岡県袋井市
(視 察 項 目) 学校給食センターにおける地産地消について
(内 容) 報告者 浅野 / 有馬

出張者： 敦賀市議会・文教厚生常任委員会
中道 恭子 / 高城 庄佑 / 山本 武志 / 山本 貴美子 / 浅野 好一 / 有馬 茂人 / 三田村 峻 / 森下 貴士（議会事務局） 計 8 名

1) 日時： 令和 6 年 11 月 12 日 (火) 13 時～14 時 30 分

2) 場所： 静岡県袋井市 中部学校給食センター

3) 相手方： ◎ 中部学校給食センター

戸塚 所長

◎ 袋井市教育委員会 おいしい給食課

石塚 係長

◎ 袋井市議会事務局

小山 次長

(添付名刺コピー参照)

4) 視察目的： 他市の給食センターの運用状況を視察し、
当市の参考とする

【内容】 添付の通り

1 市（県・町・村・施設）ごとに、1 枚作成（2 ページにわたっても可）

* 視察先ごとに、考察・感想を加えてください。

【内容】

- ◎ 袋井市の学校給食 → 添付資料の通り
- ◎ 中部学校給食センターの施設概要 → 添付資料の通り
- ◎ 学校給食センターにおける地産地消について
 - ◇ 「日本一みらいにつながる学校給食」アクションプラン
 - ◇ 地産地消コーディネーター
 - ◇ 食材調達、生産者との連携
 - ◇ 食育活動→ 添付資料の通り
- ◎ 特に参考となった説明内容
 - ◇ JA 経由の地元食材の調達は上手いかず、17 軒の農家から直接買付を行っている。
 - ◇ 変動性を平準化させるため定温保存庫を活用している。
- ◎ コメント
 - ◇ 30%地元食材を活用出来ているのは JA 経由では無く、給食センター（教育委員会）メンバーが地元農家と直接会話し、彼らの課題にも理解を示し、直接買付を行っていることが大きい。
 - ◇ 直接地元農家から納品時の検品等はそれほど手間ではないとのこと。
 - ◇ 当市もこのような努力を行わないと地元食材の活用は拡大しないと感じた。

以 上

関連資料は別途添付する。